

[dōnk]

DONC どんく

発行

三重日仏協会

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

事務局 津市東丸之内21-4 オーデンビル

3F/Siege : Oden Building 21-4

Higashi Marunouchi Tsu JAPON

☎ 0592 (26) 3159

No 28

avril 1994

SOCIETE FRANCO-JAPONAISE DE MIE

日仏・名詩の関連を解き明かす

柏木隆雄教授 文芸講演会

三重日仏協会主催、大阪大学仏文学科・柏木隆雄教授を招いての「フランスの詩、日本の詩」文芸講演会は、2月19日（土）津市の三重県教育文化会館で開催され、一般も含めて40人以上の熱心な聴衆が参加しました。

柏木氏はボードレールの詩〈Harmonie du Soir〉『薄暮の曲』を中心にすえながら、ラマルチヌ、ヴェルレーヌ、ランボーらのフランスのすぐれた詩と、上田敏、永井



荷風、堀口大學、中原中也、阿部良雄ら明治以後の日本の訳詩や詩作との関連を、それぞれの時代背景と重ねて多面的に解説され、その博覧強記ぶりとエスプリあふれる語り口で聴衆を魅了しました。

なお柏木氏は三重県のご出身ということもあって、本会の活動に大きな関心をもっておられ、今後とも協力いただくことを約束されました。

今年度のフランス語入門講座が開講

恒例のフランス語入門講座が今年も津市のオーデンビルで16人の生徒が参加、3月7日（月）から始まっています。今回は新しく昨秋三重大学に赴任された山本覚助教授を講師にお迎えし、ダメム先生とお二人で担当していただきます。

フランスに乾杯！

大廣 朋子

5年前の夏、私は、初めてフランスのニースを訪れた。それは、ピアノの勉強のためだったのだが、ヨーロッパ中の数ある夏期講習の中からウィーンでもザルツブルグでもなくこの地を選んだのは、今思うと本当に不思議な気がする。何しろそれまでの私は、フランスやフランス音楽、フランス語などにもものすごくコンプレックスをもっていただけだ。だから、フランスに対する予備知識は、ドビュッシーやラヴェルの生まれた国という程度で、ほとんどゼロ。フランス語もダメ。なのに、私は、フランスに行くことにした。そのことが、結果的に私の人生を左右したといたら大袈裟だろうか。私はすっかりフランスの魔力にかかってしまったのである。

様々な不安を胸に、無事ニースに到着。まず、登録に行かなければならない。空港から車で、しばらく海づたいに走る。と、青い海に青い空、輝く太陽、透明な光、白と青のコンビのビーチパラソル、それらがパァーっと私の目に飛び込んできた。市街をぬけると、赤茶色の建物や、レンガ色の屋根、黄色い壁の家並、日焼けして真っ赤になったおじさんやおばさん、蛍光色のスパッツの子供達の姿、そして音楽院のあるシミエ大通りでは、緑色の門や窓枠、カラフルな日よけの真っ白な邸宅、庭から咲きこぼれる鮮やかな色の花々。そして車間距離がほとんどないのにめいっぱいとはず車……。音楽院に着くころに

は、日本から即席みそ汁や日本茶のティーバック、梅干などと一緒に運んで来たコンプレックスはもうほとんど感じなくなるほど、ニースの町は私に強烈な印象を与えていた。

とはいえ、ここでの生活は、リゾート地ニースにいることを時々忘れさせるものだった。朝は、音楽院で8時から12時まで練習、午後はいつも3時からレッスンだった。夕食は、8時までにカフェテリアに入らないととれないので、学校から寮までの坂だらけの道を走って帰る。海は、高台にある寮の私の部屋からかすかに見えるものの一つにすぎない。しかし、そんなことは日本での訳の分からない忙しさに比べれば、なんでもなく、ヨーロッパの空気をいっぱい吸って、音楽のことだけ考えていられることの幸福感に浸ることがうれしかった。レッスンは、私がピアノを弾くとき、ミスや失敗を恐れるあまり、いつの間にか忘れてしまっていた音楽の本質的なものをよびおこしてくれる素晴らしいものだった。今までじっくりこなかったフランス音楽の独特の響きにも、この本場の空気の中では違和感を感じなくなっていた。

「フランスは、すごい！」と思えることは、たくさんあった。ここニースを中心にコート・ダジュールの各地で行われている小さな音楽祭もその一つだ。しかも一流の演奏家たちの演奏を講習生は、学生証を見せればただで聞けるのだ。それは、文化に対する金銭的

援助を惜しまない国の政策のあらわれであろう。そう言えばこの講習の受講費も教授陣の顔ぶれを見れば高いとは言えないし、寮もシャワー・トイレは共同とはいえ、個室をあてがってもらえるのも、バスにも半額よりも安くなる学割で乗れるのも、補助のおかげかもしれない。私が三日三晩通った音楽会の会場は、古い修道院の中庭だった。開演時間まであと5分だというのに、まだ人々は外でおしゃべりをしている。回廊の柱と柱の間のひもにぶら下がっている裸電球の証明が、開演時間を20分も過ぎたころ、やっと暗くなった。ようやく始まるのだ。遅れてもだれも文句を言わないのにも驚いた。演奏の音に混じって風に揺れる木のはっぱのさざめきや、パチンという蚊をたたく音の伴奏が入るのも一興だった。コンサートは、始まりも遅れたので終わるのは11時過ぎだ。私達日本人は、音楽会の余韻を楽しみつつ寮に帰って寝ようかというのに、向こうの人達はこれから街に出て一杯やろうというのだ。それも街まで歩いて片道1時間は、かかるのに。明日1日寝てていいのなら、行ってもいいがレッスンがあることを考えてやはり止めておいた。次の日、朝食のときに彼らに会ったので聞いてみると午前3時頃帰って来たらしいのだが、そのパワーには全く恐れ入ってしまう。

講習も後半になると、少し余裕もできたので、海に行ったり、町で買い物をしたり、食べ歩きをしたり、電車やバスでカンヌやエズまで足を伸ばしたりして、少しはバカンス気分も味わった。そのころには、耳が随分慣れて、簡単な仏会話は聞き覚えでできるように

なっていた。私のいいかげんな英語は、フランスではよく通じて、普段の意志の疎通にはあまり苦労はなかった。が、フランス人のレッスンを聞いていると、先生の話す言葉が既に音楽のようでそれがとても羨ましくて、「よし、日本に帰ったらフランス語の勉強しよう」と心に決めたのだった。



着いたころには満開だったラヴェンダーの花もいつの間にか姿を消して、大通りに落ちた葉が風でかさかさともうなるころ、講習は終わった。

レッスンを受けた先生や知り合った友達と再会を約束して、私はニースを発ってヨーロッパ旅行に出かけた。あれほど憧れていたウィーンやザルツブルグだったが、色鮮やかで表情豊かなニースがあまりにも強烈だったのか、どちらも保守的で灰色の暗い街に思えた。日本から直接これらの都市に行っていたら、そうは思わなかっただろうが。だからまたフランス・パリに戻って来たとき、うれしさの余り飛行機の予約を1週間延ばしてしまったくらいだ。

私はフランスに完全に酔ってしまったようだ。そしてその酔いは今も続いている。

ピアノ・リサイタル (三重日仏協会後援)

4/24 (日) フランスの新鋭ピアニスト・日本ツアー

フランシス・ルソー・ファンタン

Francis Rousseau Phan - Thanh

松阪伊勢信用金庫5階大ホール pm.2:00

前売3,000円,当日3,500円

メシアン <幼子イエズスに注ぐ20のまなざし>から“星のまなざし”ほか

リスト 巡礼の年・第1年<スイス>から“オーベルマンの谷”ほか

主催はダメモ先生の みえ・エデュケーション・ネットワーク

5/12 (木)

菅原美枝子ピアノ・リサイタル (本会会員)

津リージョンプラザお城ホール pm.6:45

3,000円

ラヴェル <夜のガスパール>

ベートーヴェン ピアノソナタ 第31番 op.110 ほか

「フランス語の小説を読む会」が発足

四日市でダメモ先生からフランス語を学んでいるメンバーの有志を中心に、フランス語の小説の講読に挑戦するグループが3月19日スタートしました。まず取り上げた作品はかつてフランス領植民地だったカメルーンの作家 F.Oyono の〈Une vie de Boy〉。ダメモ先生も「日本語の勉強」を兼ねて、顧問格で参加しています。隔週土曜日午後、YMCA 四日市で。参加希望者は事務局へ。

フランス便り (在日フランス大使館広報部発行) より

新駐日フランス大使が着任

昨年末ロイック・エンキン前大使の後任として、ジャン＝ベルナール・ウーヴリユー大使 (M. Jean - Bernard OUVRIEU) が着任した。同氏は1939年生まれ、パリ政治学院、国立行政学院 (ENA) を卒業。1966年外務省情報局に勤務、ポンセ外相副官房長、韓国大使、ブラジル大使などを歴任。レジオン・ドヌール勲章シュヴァリエ章、国家功労章オフィシエ章を受勲している。

☆政府観光局よりお知らせ☆

パリ、旅行者に滞在税を課税

パリ市は昨年10月18日の市議会で旅行者から滞在税を徴収することを承認した。これにより1994年1月1日から、パリに滞在する旅行者は、従来の宿泊費に滞在税を上乗せしたものを支払うことになる。滞在税はホテル、ウィークリー・マンション、キャンプ、ホームステイ、ユースホステルと、宿泊施設の形態を問わず、宿泊客1人に対して1泊単位で徴収される。4つ星ホテルは7フラン、3つ星ホテルは6フラン、といったように、高級になるほど課税額が高くなる。なお、パリ市は徴収した税金を観光客を増やすための活動費用にあてる予定。

注：滞在税はパリ市20区内のホテルに適用。デファンス、空港のホテルには適用しない。